

令和 6 年度 第 2 回防府市中小企業振興会議 会議録

日時 令和 7 年 3 月 14 日（金）午前 10 時から

場所 防府市文化センター（防府市役所 8 階）

出席委員 13 名

欠席委員 1 名

事務局 9 名

1 開会挨拶

令和 7 年度当初予算は、物価高騰・人手不足対策など様々な課題に対応した結果、庁舎建設費を除く予算規模は過去最大となった。

本日は、令和 7 年度の中小企業振興施策の説明をするので、忌憚のない御意見を賜りたい。

【事務局】

○ 会議成立の報告

14 名の委員中、13 名の出席で、防府市中小企業振興会議規則第 3 条第 2 項の規定に基づき、本会が成立していることを報告。

○ 会議の公開

防府市中小企業振興会議規則第 3 条第 4 項の規定により、本日の中小企業振興会議は公開とする旨を報告。

【会長】

人手不足や金利の上昇、また、初任給の引上げ等により中小企業の皆様は非常に苦慮されていると思う。今年度の卒業生の就職状況を見ても、待遇のよいところに流れやすいということは、今年に限った話ではないが、都市部や県外への流出に歯止めがかからず、県内就職がなかなか増えない状況にある。

本日は中小企業の振興について様々なご意見を賜りたい。

2 令和 7 年度中小企業振興施策について

【事務局】

～令和 7 年度中小企業振興施策について概要説明～

《意見等》

【A 委員】

「緊急就労応援事業」について、運送業、介護士、保育士、看護師という業種を選ばれた理由は何か。

【事務局】

保育士、看護師、介護士は、エッセンシャルワーカーであるとともに、資格が必要であり、人材の確保が難しいということ、運送業については、各事業への影響が大きいことや以前、トラック運転手確保緊急対策事業を行ったが、2024 年問題により未だに厳しい状況であるという声をお聞きしていることから、この業種を選定した。

【A 委員】

建設業も壊滅的状況であると聞いている。可能であれば、建設業ほかハローワークで求人を行ってもなかなか応募がない業種も対象にしてもらいたい。

【市長】

保育士については、県が昨年 3 歳児未満の保育料の無償化支援を拡充した中で、運送業については、2024 年の法施行による人手不足に緊急的に対応するものなので、ご理解いただきたい。

建設業、またその他業種についても人手不足が深刻であり、全体的に対策を行っていかねばいけない。

【B 委員】

まちなか創業促進事業について、空き店舗がかなり増えているが、創業者だけでなく、今事業をされている方が、2 店舗目や 3 店舗目を出されるときなどにも、利用できるか。

【事務局】

こちらは創業に特化したものだが、創業者以外の方については、外観整備の補助制度がある。また、中心市街地に出店される場合は、有利な融資制度が利用できる。

商店街のアーケードが撤去された後は、新たな施策等も考えていきたいと考えている。

【C 委員】

「市内事業者省力化設備等導入支援事業」について、予算上仕方がないのだから

うが、機械は非常に高額なので、補助率 3 分の 2、上限 100 万円では、例えば、1 億円のものを買換えるのはなかなか難しい。前回実施した補助事業を活用して、どのような設備導入があったか教えてほしい。

【事務局】

農業の設備導入やフォークリフト導入による環境整備、また、IT システムの導入などがあった。

【C 委員】

自社には少し規模が合わないので、国や県ではどのような支援制度があるかが分かれば、活用できると思う。

【市長】

C 委員が言われたように国、県、市でそれぞれ役割がある。国や県と比べ市は小規模企業が対象になると思う。各種支援制度を整理し、活用いただけるよう周知していきたい。

【D 委員】

国では、「ものづくり補助金」や「小規模企業者持続化補助金」をはじめ様々な補助金がある。創業・交流センターやコネクト 22 も含め、相談に来られた方に各種支援制度の説明を行っている。

規模感に合わせた形で対応できるよう、また、市長が言われたように、それを情報でわかるようにきちんと伝えていくことが大事だと思うので、市と一緒に頑張って取り組んでいきたい。

また、先ほどの前回の補助事業での導入事例については、小規模企業では、2 人で行っているものを 1 人でできるようにしたいといった相談や省エネ設備の導入に関する相談が多かった。

【E 委員】

国の「ものづくり補助金」と「中小企業省力化投資補助金」については、補助額は 1000 万円から 1 億 5,000 万円までと幅広いが、最低賃金を上げることや従業員数の増加等が基本要件に入っており、ハードルが高い。

「IT 導入補助金」など、国においても設備投資を行い、生産性の向上や省力化を進めていくといった支援制度が増えているが、コロナ以降、人材確保の面からも賃上げをしていこうという機運があるので、設備投資をするのであれば賃上げ、物価高騰にも対応してほしいという形になっている。

各市町では、省力化投資をする事業者にすぐに届くような施策が増えてきているが、金額が大きく、最低賃金も上昇できるということであれば、「ものづくり補助金」などは、既に公募が始まっているので、利用していただきたい。

「ものづくり補助金」も「中小企業省力化投資補助金」も非常に必要な補助制度だと思うので、先ほどD委員も言われていたように、しっかりと周知していきたい。

【会長】

中小企業においては、なかなか賃金アップまで行き着いてないというのが現状で、大企業からの波及効果が出てくるには、もう少し時間がかかるのかもしれない。

【F委員】

人手不足の中、働き手の分母が減っている部分もあり、運送業界では非常に人材確保が難しいということは、先般来ある。

令和 7 年度予算の内容を見ると、採用した後に補助金が出る施策が非常に多いように感じた。人材確保のための人材登用や広告宣伝の費用を支援していただける事業としては、「人材確保支援事業」があるが、上限 30 万円、補助率 2 分の 1 で、どの範囲まで適用されるか。

【事務局】

就職情報サイトへの掲載費用等も対象になっているので、しっかりと PR していきたい。

【F委員】

昨今はユーチューブの活用などもあるが、非常に高額なので、そういったことも参考にしていきたい。

【G委員】

人手不足は国でも問題視しており、労働局から求人者に対する支援をハローワークとしてしっかりやっていくよう言われている。ハローワーク防府では、今年度は、介護や運送業などの人手不足分野を対象にした就職説明会を開催し、求職者にお声かけし、話を聞いていただく機会を作った。これをきっかけに、事業所見学に行かれるなど、つながる方もある。就職となると、数はなかなか上がらないというところはあるが、このような取り組みを行っている。市においてもバ「運転士不足対策事業」を実施されているので、担当者に助成金の説明をしてい

ただいた。来年度も、またそのような形で市と連携させていただきたいと考えている。

【会長】

大学でも、県内の大学でつくる大学リーグという組織において、企業の見学会など、学生に県内企業を知ってもらう取り組みを進めているが、まだそれが就職に結びつくというところまではしていない状況。

【事務局】

若い人たちに防府の企業を知っていただき、防府市で就職していただくため「企業の魅力発信事業」を実施している。その中で、今年度、市内企業情報検索サイトに採用情報の掲載や企業において随時情報の更新ができるよう見直しを行ったので、こちらもご活用いただきたい。また、商工会議所と連携して、高校生だけでなく保護者の方等も対象にした企業説明会を開催も実施する。

【D委員】

物価高騰で1月の消費者物価指数は、前年同時期比で4%上昇している。そのような折に市内経済として消費が落ち込むというのが一番の懸念材料になるので、このタイミングで「プレミアム付商品券発行事業」を予算化していただき、非常に感謝している。しっかりと周知を図り、多くの方に利用していただきたい。現在約790店舗と多くのお店が登録されており、これを契機に販促活動をしていただき消費喚起につながるよう市と一緒に頑張って取り組んでいきたい。

令和7年度予算は、ハード整備に非常に力を入れられており、第5次総合計画のプロジェクトがそのまま予算化されていると感じた。人口の社会増もまちづくりの一つの成果であり、魅力あるまちに人が集まってくるので、人手不足対策にもつながる予算だと思う。今、商店街の皆さんが集まって、アーケードの解体に向けた調整を行われているが、これに対して道路整備の予算が計上されるなど、みんなが同じ方向を向いてまちづくりを進めていくことが人手不足対策や人口の社会増につながっていくと思う。

【H委員】

「プレミアム付商品券発行事業」ですが、私の住んでいる地域では中小規模店専用券が使える場所がなく、高齢者が電車で買い物に行くとすると駅から近くて大きい店舗でしか買い物をしないので、中小規模店専用券が使えないとよく言われる。防府駅周辺などで使えるお店をピックアップしてもらえると、「ここなら使えるよ。」と言ってあげられる。また、利用できるお店がたくさんあって

嬉しいが、一覧表の字が小さく、高齢者が読めないなので、少し工夫してもらえると喜んで使ってもらえると思う。

【D委員】

800店程度の登録があるので、なるべく分かりやすく、A2サイズくらいで作成したものを送付したいところだが、専用券のことも含め、皆さんが使いやすいよう市としっかりと協議し、制度を作っていきたい。

【副会長】

人手不足に関しては、大学としてもぜひとも貢献したいところだが、現在の売り手市場に加え、県外の学生が多く、基本的には都会や地元に戻ってしまうというところがあり、県内就職につなげるのはなかなか難しい。一方で、山口県の魅力を感じ、県内就職をしたいという学生も少なからずいるので、先程D委員が言われたように、ハード整備とソフトの人づくりは連動させていくべきだと思う。

「企業の魅力発信事業」では、点で企業を紹介するだけでなく、まちづくりの面と共にこういう企業があるということを紹介するようなにできれば全体として豊かになっていくと思う。

また、企業にとって、大卒者のニーズというか、ターゲティングが合っているかお聞きしたい。企業のニーズと、どういう人材をマッチングさせれば良いかなど。

【C委員】

建設関係も製造業も人手不足の問題は同じ。応募者数は実は多いが、日本人の学力がかなり低下しており、入社した人も働きたいが、ついていけないということが非常に多い。

人手が足りないので外国人を採用するが、日本語を話せるので、ある程度のレベルの人材が来る。IT関係もそうだが、基本的なところで、相手の会社の事業が分からないとプログラムを作れない。ものづくりに関する教育が少し抜けていると感じる。応用力がないので1から10まで教えなければいけない。

産業界全体でみると少しずれがあると感じる。

【副会長】

一方で、東京や海外から人材が来る企業もあるので、そういった企業をうまくまちづくりと連動させながら紹介していくというのも一つあると思う。大学生が企業を高校生に紹介するとか、いろんなマッチングの仕方が考えられると思うので、ぜひとも貢献できればと思う。

【C委員】

民間業者等に海外から人材を受け入れてではどうかと言われるが、2週間の準備期間の間にイエス、ノーを決めなければいけないということがある。

外国の方は非常に熱心で、かなり勉強してきている。国際競争なので、大学でも危機感を。辞めた後にどこに行くかと聞くと、3年後には日本を選ばずに韓国に行くという方もいる。

【副会長】

緊密、かつ、きめ細かくターゲティングを分けて、大学や高校との連携の仕方はかなりあると思うので、また引き続き検討していただきたい。

【市長】

～閉会 挨拶～

先程、会長から大学リーグとあったが、これは私が県の担当の時に大学と一緒に県内就職率を高めようということでスタートした。なかなか難しい面があるが、大学、県、市が一緒になって、また、産業界の皆様や商工会議所と一緒に取り組んでいかなければいけない。

そのためにも、まずは、防府のまちの魅力を発信していく。また、令和7年度予算の執行にあたっては市としての役割をしっかりと果たしていきたいと思っている。また、第5次総合計画は、令和7年度が最終年度ということで、次期総合計画をこれから作っていくので、御意見を賜り、防府市の中小企業振興に向けてしっかりと取り組んでいきたい。

会議終了 午前11時10分